名古屋大英語を受講する皆さんへ

大学別の対策集の冒頭に，こういう宣言をするのは，どうかなとも思いますが，あくまで傾向や対策は，傾向と対策にすぎません。すなわち，傾向と対策を知れば受かるのではなく，最短の道がわかる，少しでも点数を高く取るためのものです。

やはり，名大の合格に必要なのは，解き方や読み方といった小手先のテクニックではなく，しっかりした英語力，どんな問題にもぶれない英語力なんです。そこはどうしても，誤魔化したくなかったので，授業では，徹底してそこを追求させてもらいます。合格するのに必要なのは，必殺ルールのような小見出しではなくて，**徹底した語彙力**と**音読により培った英文処理のスピード**と**確かな文法力に基づいた構文把握力**に**文と文のつながりを理解する論理力**です。

また，従来の対策集では，体系化されていない大問１問載せているだけでしたが，あえて**捨て問は外して**，正解しなければいけない問題・正解すべき問題に厳選して，**体系化して効率性を重視**しました。名大の入試問題は，満点を取る必要はありません。７割取れば受かるのであって，合格するには，それを全科目満たせばよいのです。

授業を受動的に聞くだけでは，自分で問題を解ける力はつきません。必ず予習して，授業を受け終わったあとの復習を何より重視してください。新出の単語・文法事項を覚える・文章を 10 回音読するといった地道な作業を 10 回続けてみてください。**復習テストをすべて突破して**，全講分やり終えたあとには，必ずや名大の合格に近づいている自分が実感できるはずです。

肘井　学

テキストの特徴

授業を聞くだけでは，自分で実際の問題を解ける本物の力はつかないので，皆さんの復習を前提とした構成となっています。

それを手助けするために，読解の解答のあとに**重要語彙リスト**をつけてます。ここから**直接復習テストに出ます**ので，すべて必ず覚えてください。**単語力はすべての英語力の源**です。

さらに，授業後の復習に音読するための白文を読解の解答の最後につけていますので，必ず授業後に，①全文構文把握⇒②単語暗記⇒③本文 10 回音読の復習を欠かさずやってください。

次に，英作文の分野はただ板書しただけだと，何を覚えてよいかわからないので，**Input Sheet を解答の各講の最後に掲載**して，**何をどのように覚えたらよいかを明らか**にしました。右を隠して，答えを出せるように何度も繰り返してください。

目次

第 0 講	予習復習方法	p.3 ～ p.7
第 1 講	下線部和訳演習①	p.8 ～ p.15
第 2 講	下線部和訳演習②	p.16 ～ p.23
第 3 講	長文総合問題①	p.24 ～ p.33
第 4 講	長文総合問題②	p.34 ～ p.43
第 5 講	長文総合問題③	p.44 ～ p.51
第 6 講	長文総合問題④	p.52 ～ p.59
第 7 講	会話問題演習	p.60 ～ p.65
第 8 講	和文英訳演習①	p.66 ～ p.71
第 9 講	和文英訳演習②	p.72 ～ p.77
第 10 講	長文総合問題⑤	p.78 ～ p.88

第０講　　予習復習方法

一　予習について

＊授業で扱う文は，解法や読み方を学ぶためだけのものではなくて，そこに出てきた単語・熟語・構文すべてを学び取るもの。その文章で出てきた単語・熟語・構文は，必ず次の文にも出てくるものです！！

① 問題を解く（**長文は１問 30 分**と時間を決めて解く）
② 全文構文を把握しながら，意味を取っていく
③ わからない単語の意味を辞書で調べて，テキストに書き込む。授業は単語の意味合わせではないので，このことだけはしっかり予習段階でやってくるようにお願いします。
④ 前置詞の作るかたまりを特定する
⑤ 接続詞のつないでいるものを特定する（and, but, or）
⑥ 代名詞・指示語が何を指すか特定する（it, they, them, this）
⑦ 関係詞節の範囲を特定する
⑧ 不定詞の三用法を特定する
⑨ 分詞の名詞修飾を特定する

④〜⑨は，授業内で毎回指摘するので，予習時にやっておいて，授業では自分の精度の確認をしてください。

二　講義について

板書を急いで取ること。ぼくが黒板に書き始めた途端に，急いでノートを取ってください。役に立たない内容は，板書しないので，これ見てるだけでいいよといった板書以外は, しっかりノートに取ってください。書いて覚えるというメリットもあります。全訳はしないこと，解答にすべてあります。わからない部分だけの書き込みにすること。**板書の書き出しに, ぼくと板書が重なって見えない時は, 書き終えたら必ず見えるアングルに移動しますので，あわてずに，見えるようになってから板書をスタートしてください**。板書が書ききれない場合は，動画を一度止める・巻き戻すなどして，書き取ってください。これも映像授業のメリットです。

授業中眠くなる時があるのは，ぼくもいたいほどわかります。ただし，こらえること。講義動画は，30 分前後で 1 本にあえて区切ってあります。

三　復習について

＜文法編＞

授業では徹底して頭を使って，理解することに重点を置きました。復習では，**頭を使いながら，やはり繰り返すこと**が重要です。解答の最後に，Input Sheet といって，何を覚えるかを明らかにしてありますので，板書とそちらを見ながら，何度も繰り返して，知識を定着させてください。

＜読解編＞

毎年毎年，奇跡的な合格をはたしている生徒たちに伝授している秘伝です。何千人も生徒を教えてきて，これ以上に，成績を上げる方法は，いまだ思いつきません。といっても，急に奇跡が起こるようなそんなおいしい話なんてなくて，ぼくが練りに練り上げたその方法は，毎日毎日，ひたすら地道な作業を繰り返していくだけです。**一つの文章に対する密度を上げる**，それが遠回りに見えて，最も合格に近い道であることは，今までのぼくの生徒たちが証明してくれています。

復習その１　本文全体の構文把握

授業中に入れたスラッシュや括弧を利用して，全訳と照らし合わせて，SV はどれか，どこからどこまで一つの意味のかたまりで，どこがどこに修飾しているか確認して，意味を取っていく。

復習その２　知らない単語を，すべて覚える

解答の各講の最後にある重要語彙リストを利用して，

① **日本語とセットで**，英語／日本語の順に，3 回**書いて覚える**

② **日本語とセットで**，英語／日本語の順に，10 回**唱えて覚える**

⇒ 2，3 回繰り返しただけで覚えられない，暗記が苦手と嘆かないこと！　暗記に必要なのは，繰り返すこと，英語のできる子たちは，人より多く繰り返しているだけです!!

復習その３　文章を 10 回（長い文章は５回）音読する

音読の具体的な方法論と効果を説明します。

① 解答の各講の最後にある音読用英文で，1 回読むごとに右上の数字に一つ斜線を入れていく。

② 次に，自分なりの発音でよいから，1 文目を発声する（自習室では，自分だけに聞こえる程度の声で）。

（参考）He could not explain the reason for his instinctive avoidance of them.
（ヒークゥドノットイクスプレインザリーズン・フォーヒズインスティンクティヴアヴォイダンスオヴゼム）

③ 次に，構文を追いながら，意味を頭で考える。
「彼は，彼が本能で彼らを避ける理由を説明できなかった。」

④ この手順で，最後まで読む。数字の①に斜線を入れて，10 回繰り返す。

効果としては，まず**単語を生きた状態で学べる**。単語一つを覚えるのも重要ですが，それだけだと死んだ単語。文章中で出てきても，意味が思い出せない，何だか意味が取れないと思ったことありますよね。

次に，**正確な構文力がつく**。構文の処理を 10 回も繰り返せば嫌でも得意になります。

最後に，実はこの方法論こそが，皆さんが求める速読への最大の近道なんです!! 1 回目に読んだ時の大変さ，遅さ，それは単語の記憶があいまいなせいで，構文を取るのが遅くて不正確なせいで，読むのが遅いんです!!

10 回目に読んだ時のスピードと比較してみてください。10 回目は，なんと早く読めることでしょうか。単語の意味が正確に出てきて，構文をすばやく取れる，それが速読の真の正体なんです!!　英語を英語のまま理解できるという状態に達するのは，音読で徹底して繰り返した時に起きる現象なんです。

単語個の力と，文章の中で覚えた生きた単語力，その相乗効果こそが，最高に英語が得意になる秘訣なんです!!

あとは，これを 1 日 1 文，1 週間で 5 文やってみてください。早い人で 3 カ月で見違えるような効果が生まれてきます。ぼくの英語の授業を完成させるかどうかは，皆さんの復習しだいです。

四　復習テストについて

この授業の趣旨を理解していただいた皆さんは，いかに復習が大切で，復習こそが英語力を高める最大の近道であるかに気づいていただいたはずです。**授業を終えたあとこそ一番大事**，椅子に座って話を聞いて満足するだけじゃなく，そのあとに自ら能動的に動くこと＝復習することが一番大切なんです。ところが，人間一人ではなかなか，気持ちを持ち続けることが難しいために，その復習をぼくたちが徹底してサポートして，二人三脚でこの最も大事な復習を続けていきます。

そのために，次の授業の前に，**前回のチェックテスト**を実施してください。文法編は，授業で扱った内容をほかの大学での入試問題で確認していきます。読解編は，授業で指摘したポイントの確認，解答の最後にある重要語彙リストからの出題で，しっかり音読と語彙の定着がなされているかをチェックしていきます。いずれも，前回やった内容からの出題なので，満点で先に進んでください。

すべては，第一志望校に受かるため，英語力をつけるための最短の道と理解して，必死で臨んでください。

第１講　下線部和訳演習①

今日のポイント

次の下線部を和訳しなさい。

１．Aimless *rambling across the *moors of our imaginings may lead us to *stumble on ideas and associations that we may never find if we strive to seek them.　*ramble ぶらつく　moor 荒野　stumble on 偶然出会う

（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

２．The goal of the project is to break down the barriers that humans have built which allow us to treat non-human animals as objects and not as creatures with feelings.

（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

３．People in Nepal might still be wondering if other causes might be responsible for the crime.

（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

4. What made this otherwise all-too-common offense unusual was the department head who signed the letter was also a woman.

(　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　)

NOTE

☆　因果構文

① cause, lead to, bring about, result in, be responsible for

② come from, result from, arise from, be attributed to

③ 無生物主語＋五文型

５．Revised every five years since, these targets have produced notable improvements in water quality over the years.

（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

６．The Spartan army arrived on the scene one day late, delayed by an important religious festival that ended in a full moon.

（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

７．This second ranking is a little surprising given the relatively lower birthrate among local Japanese and the lack of significant immigration from Japan.

（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

８．（兄弟喧嘩の対処法の話）
Depending on the severity of the problem, a parent might express confidence that the kids can solve it and then leave the room.

（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

９．He delivered a lecture on Japanese poetry which so inspired me that later, wide-eyed with excitement, I was able to repeat it almost word for word to a friend.

(　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　)

NOTE

☆　分詞構文の基本

① 文頭（Doing or p.p. ～ , SV.）⇒ 時・理由

② 文中位（S, doing or p.p. ～ , V.）⇒ ～だが

③ 文尾（SV, doing or p.p. ～ .）⇒ そして～

10. Each child should be appreciated individually — though not necessarily equally — and should be praised as if he were an only child.

(　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　)

11. A new generation of scientists believe that creatures, including birds, can solve problems by insight and even learn by example, as human children do.

(　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　)

12. I myself might have been the eager frog, and Japan, with all its undiscovered riches of language, literature, and tradition, the ancient pond just waiting for me to dive in.

(　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　)

13. I had no more desire to sample the literature of Japan than I had to eat fish and rice for breakfast instead of cereal and milk.

(　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　)

NOTE

☆　省略の基本

① 関係詞の省略

② 接続詞＋ S be

③ 既出表現の省略

④ 代不定詞＋代動詞

大学別対策講座　名古屋大英語　復習テスト　第一回

＊下線部を日本語に訳しなさい。

１. The goal of the project is to break down the barriers that humans have built which allow us to treat non-human animals as objects and not as creatures with feelings.

(　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　)

２. The army arrived on the scene one day late, delayed by an important religious festival that ended in a full moon.

(　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　)

３. I had no more desire to sample the literature of Japan than I had to eat fish and rice for breakfast.

(　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　)

＊次の英語の意味を書きなさい。

4	association	
5	strive to do	
6	be responsible for	
7	revise	
8	notable	
9	scene	
10	delay	
11	given	
12	immigration	
13	severity	
14	inspire	
15	appreciate	
16	insight	
17	sample	

NOTE

大学別対策講座　名古屋大英語　解答編

本講座では，解答編もただ答えを載せるものではなく，徹底して受講生の復習を意識した構成にしました。

読解編では，各講の最後に，重要語彙リスト，音読用の白文を掲載しました。必ず授業後に，①全文構文把握　⇒　②単語・熟語の暗記　⇒　③本文音読 10 回を繰り返してください。音読用白文の表題の所に，①～⑩までの数字を明記してますので，１回音読するごとに，番号を消して，必ず一つの文を 10 回音読してください。音読こそが，速読，語彙の定着など，すべての道を切り開いてくれます。

会話・作文編では，何を覚えるかを明らかにした Input Sheet を７～９講の終わりに掲載しました。何度も繰り返して，自分で知識を使える状態に仕上げてください。

復習こそが，英語学習で最も重要なポイントです。授業を聞いてわかったという状態から，自分でできるという状態こそゴール地点だと，改めて確認してください。全構分終えたあとの充実感，英語の力の圧倒的向上を楽しみに，頑張って下さい。

肘井　学

※掲載内容について
本書に収録された解答・解説はスタディサプリが独自に作成したものです。

名古屋大英語　第１講　解答

＜解答・全訳＞

１．想像の荒野を目的もなくぶらつくことで，我々は探そうとしていたら見つけられない可能性のあるアイデアや連想に偶然出会うかもしれない。

２．その計画の目標は，人間が作り上げ，そのせいで我々が人間以外の動物を感情を持つ生き物としてではなく，物として扱ってしまう障壁を壊すことだ。

３．ネパールの人々は，他の要因がその犯罪の原因かもしれないといまだに疑問に思っている可能性がある。

４．なぜそうでなければあまりにありふれた侮辱が異常なものになったかは，その手紙にサインをしたその部署のリーダーもまた女性だったということだ。

５．それ以来，五年ごとに見直されてきたので，これらの目標によって，数年に渡って，水質が目を見張るほど改善されてきた。

６．スパルタ軍が現地に着いたのは一日遅れてであり，その遅れは，満月に終わる重要な宗教上の祭典のせいであった。

７．この二位の位置づけは，地元の日本人の比較的低い出生率や日本からの移民があまりいないことを考えると，少し驚きである。

８．その問題の深刻さ次第で，親は子供たちがそれを解けるという自信を表して，部屋を出ていくかもしれない。

９．彼は日本の詩に関する講義を行ったが，それは私をとても感激させたので，後に興奮で目を見開いて，友人にほぼ一語一語繰り返すことができたほどだった。

10．それぞれの子供が個々に評価されるべきで，必ずしも同等にしなくてもいいが，まるで彼が唯一の子供であるかのように褒められるべきだ。

11. 新しい世代の科学者たちは，鳥を含んだ生き物が洞察力で問題を解決できるし，例えによって学ぶことさえできるし，人間の子供たちがやるのと同様だと信じている。

12. 私は自分自身が熱心なカエルであったかもしれないし，日本は，そのまだ発見されていない言語，文学，伝統の豊かさを持って，私が飛び込むのをちょうど待っている古池であったかもしれない。

13. 私は，シリアルやミルクの代わりに朝食に魚やコメを食べたくないのと同様に，日本文学を試してみたいとは全然思わなかった。

第１講　重要語彙リスト

1	aimless	目的のない
2	association	連想
3	strive to do	～しようとする
4	barrier	障壁
5	be responsible for	～の原因だ
6	offense	侮辱
7	department	部署
8	head	（部署・グループなどの）長
9	revise	改訂する
10	scene	現場
11	delay	遅らせる
12	religious	宗教の
13	given	～を考慮すると
14	relatively	比較的
15	birthrate	出生率
16	immigration	移民
17	depend on	～次第だ
18	severity	深刻さ
19	confidence	自信
20	poetry	詩
21	inspire	奮い立たせる
22	excitement	興奮
23	appreciate	評価する
24	equally	同等に
25	praise	褒める
26	primary	主要な
27	concern	関心
28	insight	洞察力
29	instead of	～の代わりに

第１講　音読用白文　①　②　③　④　⑤　⑥　⑦　⑧　⑨　⑩

１. Aimless rambling across the moors of our imaginings / may lead us to stumble on ideas and associations / that we may never find / if we strive to seek them.

２. The goal of the project is to break down the barriers / that humans have built / which allow us to treat non-human animals / as objects and not as creatures with feelings.

３. People in Nepal might still be wondering if other causes / might be responsible for the crime.

４. What made this otherwise all-too-common offense unusual / was the department head who signed the letter / was also a woman.

５. Revised every five years since, / these targets have produced notable improvements in water quality over the years.

６. The Spartan army arrived on the scene one day late, / delayed by an important religious festival / that ended in a full moon.

７. This second ranking is a little surprising / given the relatively lower birthrate among local Japanese / and the lack of significant immigration from Japan.

８. Depending on the severity of the problem, / a parent might then express confidence that the kids can solve it / and then leave the room.

９. He delivered a lecture on Japanese poetry / which so inspired me that later, wide-eyed with excitement, / I was able to repeat it almost word for word to a friend.

10. Each child should be appreciated individually — / though not necessarily equally — / and should be praised as if he were an only child.

11. A new generation of scientists believe / that creatures, including birds, can solve problems by insight / and even learn by example, as human children do.

12. I myself might have been the eager frog, / and Japan, with all its undiscovered riches of language, literature, and tradition, / the ancient pond just waiting for me to dive in.

13. I had no more desire to sample the literature of Japan / than I had to eat fish and rice for breakfast / instead of cereal and milk.